

新年のごあいさつ 平成25年元旦



神埼市長 松本 茂幸

あけましておめでとうございます。市民の皆さまにはご家族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年末は、衆議院の解散に伴う師走選挙となり慌ただしい年の瀬でありましたが、民意を反映した新しい政権が誕生いたしました。今後新たな国の方向性も定まり、国が抱える多くの課題に対し一つひとつ確実に対処され、国益と国民の幸福が確立されるものと信じております。

(安全対策)

さて、私は、市政に携わって8年目、一貫して市民の安全・安心を第一義として市政運営に努めてまいりました。市長就任以来の課題でありました平坦部クリークの法落対策では、昨年10月に千代田支所内に「九州農政局筑後川下流右岸農地防災事業所」が開所され、国営クリーク防災事業が本格的に推進されることとなりました。また、県営クリーク防災事業も始まり、数年後には見違えるような安全安心な水路整備が見受けられるようになります。

また、平成21年7月の大雨(時間雨量67ミ

リ)は、城原川にある5箇所野越しを越流(30トンから50トンと言われる)し、さらに、堤防裏側(永歌神陽団地横)の崩落があり非常に危険な状態になりました。しかも、今日では100ミリを超す大雨は常識的な降雨であり、天井川である城原川と田手川に挟まれた神埼市において、100ミリを超す大雨により越流する水量を考えれば大変な状況が容易に想像できます。

このような地勢の中で、筑後川水系河川(城原川)整備計画が平成18年7月20日に国において決定されました。これで良かったと安心も束の間、ダムの検証が行われることとなり、その後の進展はないままで、誠に心配であります。早々に、国に対し城原川の治水対策とともに、内水面の排水対策も合わせて要請してまいりたいと考えております。なお、要援護者を含む市民の緊急避難の方策を考えますとき、防災センターを含む高台避難所等の設置等の計画について具体的検討に着手するとともに、国県の支援について要請を行ってまいります。

(少子化と雇用)

また、私は、「元氣神埼！」を目指してまいりました。合併以来、昨年11月末までの市の人口は886人が減少し、出生と死亡を見ると死亡が出生を年平均69人上回っており、600人弱の自然減少が見られます。このことから、若者の流出を防ぎ、定住を促進するためには、雇用の場の確保、企業誘致が重要であります。今日まで、企業誘致は7社を数え、昨年は株式会社エフピコ九州配送センターの進出協定が締結できました。また、株式会社ヤクルト本社佐賀工場では多額の

設備投資を行っていただき、全体で80人(市内33人)の雇用創出が由来しました。なお、近年(株)エフピコの更なる拡充進出の意向も聞き及んでいることから、更なる雇用の場の確保に努めてまいりたいと考えております。

(子育て、教育)

合併以来、千代田保育園(千代田町姉)は平成20年1月完成、4月開園、及び、西郷保育園(神埼町上六丁)は平成23年9月完成、9月開園することが出来ました。保育に係る園舎の施設整備は充実、完成させることができましたので、今後は、保育の内容についての充実にも努め、共働き世帯へのより良い子育て支援を推進してまいります。

また、教育につきましては、市内小中学校の全校舎の耐震校舎への改修をすでに終わっておりますが、更に外壁や屋根の改修を行っているところであり、子供たちは安全にして、安心して学業に励むことが出来るように努めてまいります。また、積極的なICT教育機器の導入に取り組むことと、教師塾の開催など先生方の指導技術の向上に努めていただき、飛躍的に学習環境が整い、児童・生徒の理解、習得、学力向上が図られているものと信じております。

また、昨年は、神埼町横武地区に学校給食共同調理場が完成し、子供たちに給食を提供しております。開設当初は不慣れな点も目立ち、たくさんのご意見をいただきましたが、色々と工夫、改善によって次第に良くなっていきますので、今年は、栄養バランスはもとより、子供たちが「美味しい！」と言ってくれる給食の提供が出来る調理現場となるよう要請しているところであります。

また、昨年のスポーツは、国体、県体、中体連での市民の活躍が目立ち、優勝および準優勝と輝かしい成績を数多く残してくれました。特にジュニアスポーツにおいては多くの種目で素晴らしい成績を残してくれ、しっかりと健全な子供たちが育まれていることに誇りと喜びを感じているところです。

（市の活性化と話題）

市の活性化には、色々な視点と立場から述べる事が出来ますが、ここでは、神埼町竹原地区の鰐神社境内に『王仁博士上陸伝承之地』石碑の建立がなされたことと、南部地域のクリーク特産の和菱を活用した神埼市ブランド化を推進している「神埼菱焼酎」と「ひしぼうろ」について紹介したいと思います。

少し大げさかもしれませんが、私は、市の活性化の一方策として、日本史の学べるまちづくりを推進すべく、神埼郷土研究会（平山宏会長）に市内にある数多くの歴史と文化遺産の調査とまとめをお願いし、これまでに「神埼の歴史と文化財（創立40周年記念）」、「神埼市の文化財（石造物編）」及び、「神埼市の文化財（伝統行事編）」を編集していただきました。現在は、「神埼市の偉人（35名）」に取り組んでいただいております。3月末頃には皆さま方にご覧いただくことが出来ることでしょうか。私も楽しみにしております。

また、この壮大なプランの一環として昨年8月、神埼市観光資源再発見事業として王仁博士をテーマとした講演会を開催いたしました。大韓民国学術院会員である王仁文化研究所長の朴光淳氏、及びアジアの古代文化を考える会会員の佃收氏の両氏の講演から、当時の大和朝廷は北部九州にあって、王仁博士

は千字文と論語十巻を携えて神埼市に渡来してきたとのお話は、神埼市民にとつて大いなる宝であり、誇りであります。正に、「王仁博士上陸伝承之地」の石碑が建立されたことは、歴史と文化を活かしたまちづくりの第一歩を踏み出せたものと考えるところであり、皆さんと取り組む今後の展開が楽しみです。

次に、平成21年度から取り組みました「和菱の焼酎」は、平成23年収穫菱で940本を醸造できました。24年収穫菱は水田栽培を含め1500kgとなり、今年度は1200本程度の醸造が出来るものと期待しております。

また、焼酎づくりで生ずる膨大な量の菱の殻は、通常であれば産業廃棄物として処理することとなりますが、西九州大学（安田みどり教授）と市菓子組合との産学官共同で「ひしぼうろ」を創作、誕生させ、菱の殻を宝の原料に換えることができました。しかも、成分分析によって、さまざまな疾病・老化、糖尿病、高血圧、肥満などの予防、更に「美白効果」もあるとのことであり、神埼市の活性化に向けた色々な活用、展開が楽しみです。

（可能性に大きな期待）

第一回さが桜フルマラソンが神埼市を含めて4月7日に開催されます。全国から参

▲鰐神社に建立された石碑



加される約8,000人のランナー、そしてランナーを応援される方々を市として歓迎することとしておりますが、コース沿線の集落のみならず、地域全体の区長会においても「おもてなし、歓迎」の協力支援の申し出をいただきました。市民こそって成功に向けて取り組むことによって、吉野ヶ里歴史公園のある神埼市を、全国に知らしめる絶好のチャンスだと思っております。

また、吉野ヶ里テクノパークに設置されるメガソーラーは6月稼働の予定であります。このことによつて、竹原地域において弥生の歴史時代、王仁博士渡来の古代国家時代と超近代文明時代の対比した体験観光ビジネス展開の可能性が見えてきます。市民の皆さんと知恵を出し合い、市の活性化に挑戦できる年明けとなることを願っております。

（市民協働のまちづくり）

合併7年を経過し、神埼市は小さいながらも、市としての体裁を一步一步、整えていくことができたものと思っております。何もかも行政が行う時代ではなく、「自助、共助、公助」という考えに立ち、市民が参画して進められるまちづくりが求められています。地域主権、地域の時代が叫ばれるなか、市民の皆さんの積極的行政参画を願い、神埼市そして神埼市民にとつて素晴らしい一年となります。市民の皆さんを祈念申し上げ、年頭のごあいさつとします。



神崎市議会

議長 片江 護

新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆さまには、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



神崎市教育委員会

教育長 實松信子

新しい年をお揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、この一年間、市民の皆さまの御理解・御支援を得て、神崎市の教育を推進させていただきましたことに心からお礼を申し上げます。

さて、学校教育に関しては、

輝かしい平成25年の年頭に当たり、神崎市議会を代表して、新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中、市民の皆さまには、市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年4月に神崎市議会は新たな体制を整え、私が議長の指名をいただきました。約9ヶ月が経ちましたが、その責務の大きさを痛感する毎日でございます。私が議長として公務に精励できましたことも、また、議員全員が議会活動に専念できましたことも、市民の皆さまのご支

子どもたちを「21世紀の生活者」とし、この世紀を充実して生きる資質の育成を目指す教育を継続してまいります。

また、子どもたちの安全・安心な学習環境を確保するものとして、老朽化した校舎の外壁・屋根の改修に取り組んでおります。今年、仁比山小、千代田東部小を予定しています。空調設置事業につきましては、西郷小、仁比山小、千代田西部小を予定しています。その他、脊振中の体育館の老朽化に伴い、武道館として新築します。

「いじめ防止」をはじめ、子どもの健全育成を目指した「規範意識の醸成」に、家庭・地域・専門機関と協力して取り組んで

援のお陰でございます。深く感謝申し上げます。

今、地方は大きく変革しようとしております。地方の課題とは何か、神崎市の課題は何かを見つければ、議会は地方自治の二元性の一翼を担う役割を再認識し、その役割を果たさなければなりません。

そのためには、まず市民の皆さまに信頼される議会となるよう、開かれた議会を目指した議会改革を早急に実施しなければなりません。現在、議会改革についての調査研究を行うため、

まいります。家庭学習習慣の定着を願って作成した『親学・子学』の一層の活用を図ります。

社会教育に関しては、「知的に洗練された市民生活の場」を目標にします。まず、神崎市における生涯学習活動の拠点である中央公民館の老朽化に伴う改修計画を立て、24年度から取り組み26年度に工事完了の予定です。この間、皆さまに大変ご迷惑をかけると思いますが、ご理解の程をお願いいたします。中央公民館を主体とした事業は、休むことなく工夫しながら進めてまいります。

子どもたちに本物の芸術に触れさせる事業も3年目を迎えます。

議会改革検討特別委員会を設置し、具体的に取り組んでおります。

また、昨年は他県の市議会からも神崎市議会を多数ご視察いただき、さまざまな評価をいただきました。市民の要望に応えるために議会としてどのような取り組みが必要か、他市議会との情報交換の中でも得るものが多数ありました。

今後さらさら検討を進め、議会改革の実現に努めてまいります。神崎市におきましては、財政状況が厳しさを増すなか、取り

す。神崎市の子どもだからこそ体験できるこの企画は、今後とも大事にしていきたいと考えています。

神崎市図書館におきましては、家読の地区が昨年は5地区となり今年も更に参加地区を増やしていきたいと願っております。また、「図書館のあり方検討委員会」を発足させて、研究を進めてまいります。昨年実施した「文学散歩」を今年も実施する計画です。昨年は男性の方の参加が多くて、好評でした。

社会体育では、平成24年に引き続き「チャレンジデー」に参加しています。3年連続勝利を手にしていますので、今年も市民の皆さまの底力に期待しています。また、平成25年度全国高校

組まなければならぬ問題が後を絶たない状況にあります。

しかし、「自然と歴史と人が輝く未来都市」として神崎市が繁栄するよう、市議会議員全員が一丸となって努めていく所存であります。

最後になりましたが、本年もより一層のご支援、ご協力を申し上げますと共に、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、ごあいさついたします。

総体事業として、神崎市がハンドボール競技の会場となります。市民の皆さまの「おもてなしの心」のご協力をお願いします。

文化財関係では、旧古賀銀行神崎支店の公開活用事業に取り組みします。この他、市内の出土文化財を各学校に教材として活用できるよう準備にとりかかり、郷土の歴史を理解する支援を行います。

文化会館関係では、ここ3年間継続している「子ども能楽教室」で伝統文化の体験をさせます。今年も、教育委員会事務局職員一同がんばってまいりますので、市民の皆さまの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。ごあいさついたします。

今年の抱負

総務企画部

昨年は、地域主権改革推進による自主的・自律的な運営や、効率的・機動的な体制づくりを旨とし、機構改革に取り組みました。また、住みやすいまちづくりのための巡回バスの本格運行やケーブルテレビを活用した行政情報の発信など、市民の皆さまの生活利便性の向上に向けた取り組みを進めてきました。

本年は、歴史文化遺産を活かしたまちづくりとして、市民の皆さまとの協働で、伊東玄朴先生顕彰や城跡・クリーク・自然・景観など各地区の特色ある資源を活かした地域おこしを進めていきます。

また、防災面においては、防災訓練や避難訓練等による災害の備えの充実を図るとともに、防災メール等各種の機能の広報により、災害時の情報伝達の向上を図り、市民の皆さまの安全・安心の確保に努めます。葬祭公園については、北部土採り場跡地の全体構想や、基本計画などの策定に取り組みことにしています。

引き続き、市民の融和と親睦、一体感を高めるため「市民交流

祭」の開催や、神埼ブランド創造の菱焼耐づくりについては市外・県外への販売準備に入るなど、地域の活性化を推進します。

また、地方交付税の合併特例優遇措置が、平成32年度をもつてなくなるなど、今後の財政運営は厳しくなることが予想されますが、健全な行財政運営に努め、総合計画に基づいたまちづくりを推進していきます。

本年も、開かれた市政運営に向け職員一丸となって、全力で取り組んでいきます。

市民福祉部

住民サービスの基本となる「総合窓口」については、やさしく、親切に、丁寧をモットーに職員の更なる資質向上に努めます。

市民の皆さまの健康増進と生活習慣病予防のため、住民総合健診、ガン検診を推進します。保健指導については、訪問を通じて顔の見える保健師を目指します。また、食に関する指導、相談の充実を図ります。

環境については、生活環境と自然環境の保全に努め、市民の皆さまのご理解とご協力を得まして、ゴミ減量化の推進に努めます。

社会福祉部門では、子ども・

子育て関連3法の成立に伴い、保育園等での保育を始めとして子育て支援の更なる充実を図ります。また、専用メールアドレスを開設し、児童虐待防止対策強化などに努めるとともに、災害支援者支援システムへの登録の推進を促し、市民の皆さまが地域で安全・安心して暮らせる地域福祉の充実に努めます。

高齢者福祉部門では、デイサービス事業を中心とした元気老人対策、ひとり暮らし老人等を対象とした緊急通報システム設置推進などを図り、高齢者の生きがい、安全・安心対策に努めます。また、本年より「神埼町老人憩の家」の改築に取り組みます。地域包括センターでは、介護予防事業に力を注ぐと共に、介護相談、権利擁護などの事業にも努めます。

障がい福祉分野では、障がい（児）者の自立を支援するため就労継続支援・就労移行支援・共生生活援助などの障がい福祉サービス推進・充実に努めます。



▲改築が待たれる老人憩の家

産業建設部

経済情勢が低迷を続ける中、昨年は、住宅リフォーム緊急助成や商品券事業など地域経済の活性化に向けた取り組みを図るとともに、竹原地区の「王仁天満宮」を新たな観光資源としての活用を図るための取り組みにも着手しました。また、基幹産業である農業については、露地野菜の作付拡大や集落営農への支援、暗渠排水整備など、安定的な農業経営の確立に向けた取り組みを進めてきました。

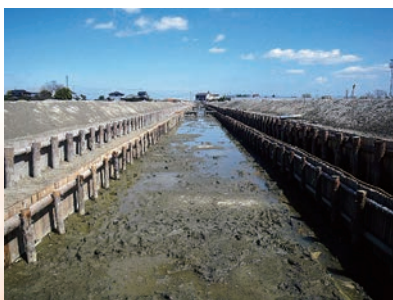
「力強く活気のある神埼」を目指し、地場産業の振興や雇用の創出に向けた企業立地・支援の取り組み、観光資源のネットワーク化や特産品の開発・PRなどに積極的に取り組みます。

懸案でありました本市中南部のクリーク法落対策については、昨年10月に国営事業所の開設、森林間伐材活用のための整備など、来年度からの本格実施に向けた環境が整ったと考えており、国、県、土地改良区、森林組合との連携を図りながら、クリーク整備の推進を図るとともに、本市森林の保全、振興につながる取り組みの推進に努めます。

また、建設・下水道部門においては、「環境にやさしく生活者重視の神埼市づくり」の基本方針のもと、市民生活に密着した生活道路や水路、下水道、公営住宅などの整備に取り組んでいます。

引き続き、国営千代田西一号線道路改良を始め、市民の皆さまが住みやすさを実感できるような市道等の整備を進めるとともに、国、県の事業についても、本市の将来発展や安全性の確保が重要であり、整備促進に積極的に取り組んでいきます。

また、下水道事業では、下水道管渠整備と浄化槽整備を進め、公共用水域の水質保全とトイレの水洗化による生活環境の改善に取り組みます。



▲森林間伐材を活用したクリーク法落対策事業

市民福祉の向上のため職員一丸となって取り組んでいきますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

11月定例議会開かれる

市議会11月定例会が11月30日から12月20日までの21日間開かれ、平成24年度一般会計補正予算案など29件の議案が審議されました。

今回の一般会計補正額は、2億1,203万5千円（第6号）、1,796万5千円（第7号）で、補正後の総額は142億1,314万1千円となります。

新規事業としては、4月7日に開催予定で、神崎市内もコースとなる「さが桜マラソン」の応援事業費153万1千円を計上しました。さが桜マラソンは、県陸上競技場を発着点として、吉野ヶ里歴史公園を折り返すフルマラソンです。マラソンの参加者は定員8千人。全国からの参加者や関係者などに、市内沿道での応援を通じて神崎市の魅力を発信できるものと期待されます。

新規以外では小学生等医療費助成事業に106万4千円。神崎市では平成22年10月からこの事業に取り組んでいますが、当初予算よりも支出額が増えるため、予算を増額するものです。

また、安心こども基金保育所等緊急整備事業に303万6千円、障害者自立支援介護給付費として73万1千円、同訓練等給付費に227万6千円、さかの強い園芸農業確立対策事業に99万6千円などが主なものとなっています。

●一般会計補正予算の主な内容（☆は新規事業）

単位：千円

事業名	補正予算額	事業の内容	担当課
☆ さが桜マラソン応援事業	1,531	市内のコース沿道で、参加者や家族などに神崎の魅力を情報発信するため、応援グッズや横断幕、のぼり旗などを作成する。	市長公室 ☎37-0102
小学生等医療費助成事業	10,646	小学生の医療費の一部を助成することで、病気の早期発見と治療を促進、子育て支援の充実を図る。4、5月分が当初見込みより大幅に支出増となったため今回補正。	市民課 ☎37-0115
安心こども基金保育所等緊急整備事業	30,362	ちとせ幼稚園が来年度から休園するのに伴い、園児受入れと未満児の利用希望増に対応するため、ちとせ保育園を施設整備。	福祉課 ☎37-0110
障害者自立支援介護給付費	73,175	障害者、障害児が自立した日常生活ができるよう必要な介護サービスに係る給付等の支援を行う。	高齢障がい課 ☎37-0111
障害者自立支援訓練等給付費	22,761	障害者、障害児が自立した日常生活ができるよう提供される訓練等サービスに係る給付等の支援を行う。	高齢障がい課 ☎37-0111
さかの強い園芸農業確立対策事業	9,964	7月の豪雨被害を受けたアスパラハウス利用組合に対し、園芸ハウスを建設する。	農政水産課 ☎37-0117

神崎市学校給食共同調理場 臨時調理員募集

- 募集人数** 3人
- 勤務形態** 月～金曜日までのうち週5日以内
7：45～17：00のうち7時間45分勤務
※休日－土・日・祝日、学校長期休業期間（春、夏、冬）
- 勤務場所** 神崎市学校給食共同調理場（神崎町横武1501番地）
- 雇用期間** 2月1日（金）から3月21日（木）まで
- 賃金** 日額6,100円
- 応募資格** 原則として神崎市在住の方
- 応募方法** A4サイズの履歴書（顔写真添付）を下記の担当窓口へ直接持参してください。
- 受付期間** 1月18日（金）まで 8：30～17：15（土・日・祝日を除く）
※面接日は本人に連絡します。

◎問い合わせ先 神崎市学校給食共同調理場 ☎51-4008 FAX 53-2533

民生委員・児童委員の紹介

下記の地区において民生委員・児童委員が交代され、11月28日付けで委嘱されました。

地域のボランティアとして、地域福祉や児童福祉についての相談や支援を行う身近な相手です。悩みごとや心配ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

●千代田町 実松政子さん
（下神代・上神代地区）

◎問い合わせ先
神崎市役所 福祉課
☎37-0110

平成25年度 神崎市公立保育園臨時保育士・調理員・看護師募集

雇用登録期間 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

保 険 常勤臨時保育士・常勤臨時看護師・常勤臨時調理員
 …社会保険・雇用保険は条件適用有・労災保険
 非常勤臨時保育士・非常勤臨時調理員…労災保険

	業務名 ※免許等	募集人数	基本的な勤務形態	賃金 (見込み)
①	常勤臨時保育士 ※保育士資格	35人程度	月～土曜日7:00～19:00内での7時間30分勤務 (指定日・月22日程度勤務) 休日 (日・祝日)	日額 6,780円
②	非常勤臨時保育士 ※保育士資格	20人程度	月～土曜日7:00～19:00内での7時間30分勤務 (指定日・週3日程度勤務) 休日 (日・祝日)	日額 6,780円
③	常勤臨時調理員 ※調理師資格	5人程度	月～土曜日8:30～16:45内での7時間30分勤務 (指定日・月22日程度勤務) 休日 (日・祝日)	日額 6,100円
④	非常勤臨時調理員 ※資格は必要ありません。	2人程度	月～土曜日8:30～16:45内での7時間30分勤務 (指定日・週3日程度勤務) 休日 (日・祝日)	日額 5,810円
⑤	常勤臨時看護師 ※正看護師資格	3人程度	月～土曜日7:00～19:00内での7時間30分勤務 (指定日・月22日程度勤務) 休日 (日・祝日)	日額 6,780円

勤務場所 ちよだ保育園・西郷保育園・仁比山保育園

※⑤については、平成24年度に雇用されていた方で引き続き平成25年度も同保育園にて応募される方に限り、准看護師資格でも可とします。

応募方法 佐賀職業安定所で手続き後、次の書類を下記の担当窓口まで提出してください。

- ①市販のA4サイズの履歴書(顔写真貼り付け)
- ②資格を必要とする業務については、証明する書類等の写し
- ③官製はがき(返信先記入)

受付期間 1月4日(金)から25日(金)まで
 8:30～17:15(土・日・祝日を除く)

選考方法 書類選考・面接 ※面接日は福祉課からハガキで連絡します。

◎担当窓口・問い合わせ先 神崎市役所 福祉課 ☎37-0110



有料広告



ホテルニューオータニ佐賀
ブライダルフェア毎月開催
 10:00～18:00
 入場無料
 すべては大切な目のために。

「この広告を見た」で来館のご予約を頂くと、
 賞味会に2名様無料ご招待いたします。
 ホテルウェディングの全てをご覧頂けます。

The New Otani
 ホテルニューオータニ佐賀 www.newotani-saga.com
 ブライダルサロン
TEL:0952-25-9001

有料広告